

最
前
線

研
究

ア
フ
リ
カ



シリーズ

生きる

photo by Toshikazu Tanaka

京都大学アフリカ地域研究資料センター公開講座 創立25周年記念シリーズ



The 25th Anniversary
AFRICA CENTER .2011

生きる

現代アフリカの人びとが生きてきた
さまざまな環境とその変貌について
長年にわたって

アフリカに通い続けてきた
フィールドワーカーがお話します

4/16(土)

太田 至

(京都大学アフリカ地域研究資料センター 教授)

サバンナに生きる



アフリカ大陸において、サバンナと呼ばれる地域は全体の23パーセントを占めており、その面積は日本の約19倍です。この地域では、乾燥した気候に適応した多様な生活が営まれています。今回は、家畜に依存しながら生活している牧畜社会の人びとの暮らしと、彼らが直面している現代的な課題についてお話します。

5/28(土)

荒木 茂

(京都大学アフリカ地域研究資料センター 教授)

土に生きる

アフリカ農業にとって「土」は最も大切な要素のひとつです。アフリカ大陸の「土」にはどのような種類があり、どのような特徴をもっているのでしょうか。アフリカにおける「土」と人びとの暮らしとの関わりについてお話します。



6/18(土)

大山修一

(京都大学アフリカ地域研究資料センター 准教授)

焼畑に生きる



総人口の6割が農村に住むというアフリカ大陸。焼畑を営みながら現金にほとんどたよらずに暮らす農村の人びとの生活を紹介します。現代アフリカの農村に生きる人びとの生活原理と、彼らが直面する課題について考えます。

7/16(土)

梶 茂樹

(京都大学アフリカ地域研究資料センター 教授)

言葉に生きる

世界で七千近くある言葉の3分の2はアフリカの人びとによって話されています。そこには多様で豊かな言葉の世界があります。この講座では、アフリカにおける言葉と社会の関わりについて諺や音楽の話を通じてとりあげます。



9/17(土)

掛谷 誠

(京都大学 名誉教授)

アフリカと生きる

いま私たちは、遅れたアフリカというイメージの根拠を問い直し、これからのアフリカの未来を考える時期にきています。40年にわたるアフリカ研究の経験をふりかえりながら、地域がもつ潜在力に根ざしたアフリカの発展を推し進めるアフリカ型農村開発のアプローチについてお話します。



日時 2011年 4/16, 5/28, 6/18, 7/16, 9/17 (土) 15時~17時
会場 京都大学 稲盛財団記念館3階 中会議室
受講料 5講座 ¥4,000 (1回ずつの受講も可) 1講座 ¥1,000

受講を希望される方は、HP(<http://jambo.africa.kyoto-u.ac.jp/~front-a>)のフォームから事前にお申し込みください。または下記のいずれかまで、お名前、ご住所、お電話番号、ご希望講座を記してお送りください。

E-Mail) front-africa@jambo.africa.kyoto-u.ac.jp FAX) 075-753-7831
郵便) 〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 京都大学アフリカ地域研究資料センター 公開講座係

- ◇ 京阪「神宮丸太町駅」5番出口(出町柳方面)から北へ徒歩5分。
- ◇ JR/近鉄「京都駅」から市バス(205/17/4系統)で「荒神口」下車、東(荒神橋方向)へ徒歩4分。または京都バス(17/55系統)で「荒神橋」下車すぐ。
- ◇ 阪急「河原町駅」から市バス(205/59/37/17系統)で「荒神口」下車、東(荒神橋方向)へ徒歩4分。または京都バス(17/55系統)で「荒神橋」下車すぐ。
- ◇ 地下鉄烏丸線「丸太町駅」から市バス(204/202系統)で「丸太町京阪前」下車、北へ徒歩5分。

map

